

八丈島 水産だより 12月号 2022年



令和4年11月10日、八丈島空港内にある東京愛らんどシャトル格納庫にて、東京愛らんどシャトル新運航機レオナルド社製AW139型・JA239A号機の就航記念式典が行われました。新運航機は厳しい安全基準を満たして設計された9人乗りの最新鋭ヘリコプターで、その広い客室と大きな窓から伊豆諸島の大自然が一望できるそうです。本年12月12日より路線運航が開始される予定です。楽しみですね！

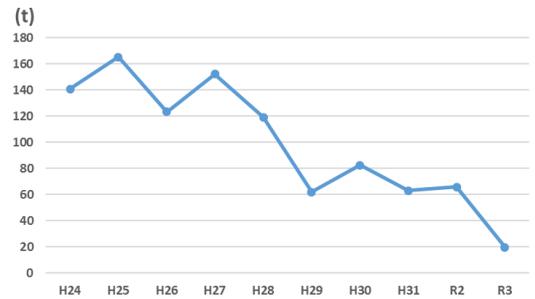
■ ムロアジの漁模様

近年、ムロアジの漁獲量が激減しています。平成25年には約165tあった水揚げが、令和3年には約20tまで減少してしまいました(右グラフ参照)。今年からは11月からムロアジ漁が始まりましたが、漁模様はよくありません。東京都では、漁協や漁業者の協力のもと、ムロアジの調査を実施しています。

ムロアジの生息場所や成長度合いを調べることで、ムロアジの効率化等を図っていく予定です。



ムロアジ棒受け網漁船



■ ムロアジの精密測定



ムロアジ



卵巣

島しょ農林水産総合センター八丈事業所では、漁獲されたムロアジの精密測定を行っています。

1回当たり30尾のムロアジをサンプリングし、魚体重や精巣と卵巣の成熟度合い等を調べています。

これらの測定を行うことで、「八丈島のどこで産卵しているのか」「いつ頃産卵しているのか」等、今まで解明されていなかったムロアジの生態が明らかになるため、効果的な資源管理の実施による漁獲量の増加が期待されます。

実施による漁獲量の増加が期待されます。